

ゆりはま 議会だより

Vol. 75

令和4年11月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



決算認定

新たな過疎対策推進

委員会視察

一般質問

2

9

11

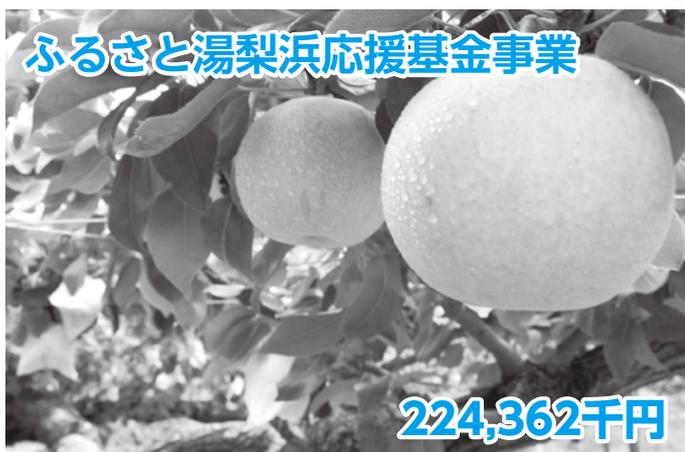
12

「負けりやあせんじえ～」
(わかばこども園)

禍でも 事業推進



町民の生活を 守る



ふるさと湯梨浜応援基金事業

224,362千円

寄付サイトの効果で寄付金が微増。寄付者に湯梨浜町の良さを伝え、関係人口の増加を目指してほしい。
(寄付額R2年度1億3866万円→R3年度1億4242万円)



羽合小学校管理運営臨時経費

31,441千円

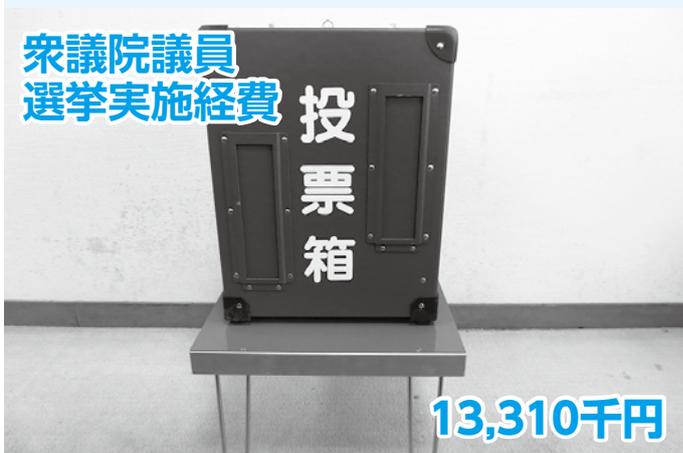
医療的ケア児受入れのために、先手の対応は評価。障がい共有するという観点から、プライバシーに配慮し、情報提供を。その他、エアコン更新等の施設整備を行った。



鳥獣被害総合対策事業

11,977千円

侵入防止施設早期整備のため、資材の早期入手を県に要望を。狩猟免許者を増やして。



衆議院議員 選挙実施経費

投票箱

13,310千円

若者・子育て世帯向けに、投票したくなるようなデザインのチラシや投票用紙といった広報の工夫を。

監査委員の意見(抜粋) 健全な財政運営だが、今後も課題は山積み

財政上重い負担を伴う事業、早期に方向性を出す必要がある事業は、行財政運営の安定化を図りながら町民・関係機関の意見を聞き適時に取り組んでもらいたい。

各種課題が山積みしている。たじりこども園の移転、国民宿舎水明荘への財政支援など各種課題が山積みしている。

しかし、老朽化した水道・下水道施設の更新等多大な財政負担を伴う事業や、両中学校の跡地利用、分館の建設、町営住宅建て替え事業着手も進められてきた。厳しい財政状況の中、中央公民館泊分館の建設、町営住宅建て替え事業着手も進められてきた。しかし、老朽化した水道・下水道施設の更新等多大な財政負担を伴う事業や、両中学校の跡地利用、分館の建設、町営住宅建て替え事業着手も進められてきた。



代表監査委員 金涌 孝則



9月定例会は、16日から30日までの15日間の会期で開催しました。9月定例会は「決算議会」と言われ、令和3年度の一般会計及び特別会計の決算審査が

中心です。決算審査特別委員会を設置し、審議した結果、一般会計及び特別会計の総額161億4千万円の支出を認定しました。ここでは、議員視点で決算審査の結果をお届けします。

コロナ 着実に

歳出決算額

一般会計 **107億5950万円**

特別会計 **53億8133万円**



その他事業も チェック!!

歳出 不妊治療費助成事業

令和3年度は延べ32人に助成（令和2年から1.2倍増加）

歳出 親元就農促進支援交付金事業

2名の活用あり。親元就農への関心が高まる。

歳出 修学旅行補助金

バス利用料を補助し、県内修学旅行を行った。

歳出 コンピュータ機材等整備事業

液晶ディスプレイ12台ほか、ICT機器を整備。

歳出 防災力強化事業

防災士を新規に4名養成。

歳出 自主防災組織コミュニティ助成事業

令和3年度は松崎自主防災会に対して、発電機・除雪機・テント購入を助成。

歳出 さくら工芸品工房管理運営臨時経費

空室となっていた3つの工房の利用者が決定し、工房のバラエティが増した。

歳出 空き家情報バンク活用促進事業

令和3年度の新規登録は2件。問い合わせは増えたものの、登録件数は少ないまま。

放課後児童クラブ事業



39,224千円

定員を超える東郷第一児童クラブは、教室の確保を。老朽化が進む東郷第二児童クラブは環境整備を。

こども園ICT 環境整備事業

5,160千円

保護者からは好評なICT利用。職員の研修にも力を入れて。園児置き去り事件を教訓に、ICTと職員のダブルチェック確認を引き続き行って。（保護者が登園打刻の様子）



ワーケーション推進事業



22,019千円

ワーケーション事業への投資が将来も生きるよう、ビジョンを持って事業を進めて。（会議室を整備した水明荘）

上下水道事業の広域化

☆平成31年1月25日の総務省・厚生労働省からの通知により、都道府県に対して、令和4年度末までの県内上下水道の広域化計画策定要請に関する検討状況の報告を受けた。

問 それぞれの市町村に合うかどうか
が問題であるので、焦らずにやるべきではないか。

問 羽合配水池・東郷配水池をそのまま残し、それを利用しながら配水していくのか。

答 国がいうことではなく、鳥取県に合った、中部に合ったやり方を模索していきたい。

答 県内での統合案で、倉吉市との令和7年度統合が示されており、実現の可能性が高いと考えている。



倉吉市から送水を受ける予定の羽合配水池

問 倉吉市から送水管で送水し、羽合配水池を利用して今の配水管に接続すれば安価ですむのではないかと。

答 倉吉市とは、すでに接続しており新たな工事は必要ない。しかし、管路更新は当然必要である。

今滝梨生産団地造成計画

☆北福・漆原地内に造成を検討している新たな梨生産団地について、担当課より現時点での状況は現地調査と計画の調整の段階という説明を受けた。

問 現在すでにその地区で梨を生産している方はどうなるのか。

答 制度上、一旦は担い手育成機構に貸し出して、改めてそこ

で生産するという手続きを行っていただく。

問 入居条件は、松崎駅南の梨生産団地と同様か。

答 同様に受益者負担は5%だが、詳細な額は今後調整する。

問 制度上、機構が間に入るといふことだが、所有権はどのような形になるか。

答 進めてもらいたい
が、災害発生時

☆町道に異常個所があった場合、町民がLINEで通報できるような体制を作りたいと報告があった。

町道通報システム構築

答 所有権は変わらずに、機構が借り受けて担い手に貸し出す形になる。期間は20年。

や台風するときなどにも利用できないか。

答 それは総務課防炎対策係でチェックしている。できるものには対応していきたい。

問 LINEで対応済みの返しはしないのか。

答 町ホームページに掲載するなどして返していきたい。



造成が待たれる今滝梨生産団地

肥料高騰対策事業

☆肥料高騰対策事業の概要について、説明を受けた。国7割・県1割の肥料コスト上昇分を支援する。場合によっては、町も1割支援すると、全体で9割の支援となる。

問 肥料の2割減が条件になることから、収量が減って、収入が減ることはないのか。

答 国が、化学肥料の2割減を条件としてきた。化学肥料をやめて、土壌分析結果などから、肥料低減の取り組みをすることを条件としている。



高騰が続く化学肥料

問 J Aが取りまとめ体制を検討中とのことだが、土壌診断・生育診断などは、J Aでなければできないか。

答 一番早いのはJ Aに依頼されること。民間業者がどれだけやれるか把握していない。

問 懸念される事務作業について、中部地区では町農業再生協議会が実施することでよいか。

答 取り組み実施者ということ、中部地区では町農業再生協議会がすること、了解するよう話し合っている。

国道179号バイパス事業

☆中部総合事務所県土整備局計画調査課から、国道179号はわいバイパス事業の進捗状況について、令和8年度完成・供用開始予定との説明を受けた。

問 境界立会については、すべての方に認識してもらっているか。

答 対象になる方にはすべてに伝えていますが、当日、出られない方もあるので、後追いでやる体制をとっている。

問 横断が危険だと考える「町道田後1号線」の交差点には、押しボタン式信号の設置が必要だと考えるが。

答 具体的な事例を公安委員会にも伝え、単なる要望ではなく、具体的に取り組んでもらえるように働きかけたい。

問 早期完成に向け予算獲得には、湯梨浜町・議会との要望活動も必要では。

答 早期供用に取り組んでいきたいので、要望活動については、町長・議長とも連携していきたい。

長で65歳までであることが示され、12月議会条例として提案される見通しであることの説明を受けた。

問 再任用との違いは。

答 給料が7割相当になる。退職手当の部分が延長になる期間に加算される。

問 定年延長により、若い職員の採用に弊害が生じるのではないか。

答 国の指導でも、基本的な年齢構成のバランスを保つようになっている。全体を網羅した人事採用をするように指導されている。

問 65歳からの再任用はないのか。

答 現状では、ないということだ。

農業委員会サポートシステム導入

問 タブレット使用とは具体的にどう使うのか。

答 予算計上は7台分で、1台3万9908円である。十分な研修が必要だと思う。サポートシステムについては、全国農地ナビがあって、それに連動するネットワーク上の農地管理システムを、全国農業会議所がつくっている。農地パトロールの結果を全国農地ナビに反映させることができると、よう努力したい。



紙資料からタブレットへ移行

将来を見通した増築を

☆令和6・7・10年度に1学級ずつ増える羽合小学校。特別支援学級も増加傾向にあるため、教室を増築する。

問 現在の校舎とは別に建物を造るのか。

答 現在の校舎の中に部屋を増築すると割高になる。別に建物を建てる方向で検討している。

問 いつ頃の完成を目指すのか。

答 令和6年度に羽合小学校の特別支援学級が1学級増えるので、それまでに完成する予定。



児童数が増え続ける羽合小学校

問 羽合小学校は過去にも増築した経緯がある。今後児童数が増加することが予想される。将来を見通した増築計画を立ててはどうか。

答 文部科学省の補助金は、0歳から6歳までの子ども数から試算される。転入などで児童が増えた場合を加味すれば、町の財源で教室を増やすことになる。現在は、文科省の補助のみを利用する考え。

問 児童数増加の対応策として増築以外の方法は。

答 学校、教育委員会、校区の見直しを含め、内部協議をしている。校区見直しは十分な協議時間が必要。泊小学校への特定地域選択制を使うのが良い選択と考えている。

新型コロナ子育てにも影響

☆今年度の産後ケア事業の利用件数が、当初計画を大幅に超える見込み。

問 利用件数増加の背景は。

答 シングルマザーなど、一人で育児せざるをえない人が増えている。また、妊娠期間中に支援が必要な人もいる。

問 新型コロナウイルスの影響が子育て世帯に出ているのではないか。

答 県外出身の人の場合、祖父母に子育てを手伝ってもらうのが難しい状況にある。

的には、どのような対応をしているか。

答 親や祖父母に対して、沐浴、離乳食の講習など、様々なメニューを設けている。

ながせこども園、処遇改善実施に至らず

☆保育士の賃金を本年2月から9月まで月9千円アップする事業がある。当初、3園（二チイ、太養、ながせ）が実施する計画であったが、町社協に委託するながせこども園は実施しなかったため、減額補正となった。

問 事業実施に至らなかったのはなぜか。

答 社協内の協議の結果である。介護事業、事務方などの給与バランスもあり賃金アップで経営圧迫し、保育士などだけ処遇改善は困難であると判断された。

問 介護職なども国の補助金で処遇改善がなされたはずだが。

答 各担当課として各事業部門の話はしているが、社協全体の賃金体系、経営全体の話などは困難である。保育事業、介護、障がい関係など町が業務委託しており、今回の事業を含め社協と協議したい。



町社協が運営するながせこども園

羽衣石城跡及び付城群の国史跡申請へ

☆羽衣石城跡などの遺跡発掘等調査事業については、今年度、調査を終える。来年度、その出土品等も含めて年代を特定して、報告書にまとめいく。

問 羽衣石城遺跡発掘は何年計画で行っているのか。また、遺跡等から出てきた調度品、物品等を一般市民に公開または報告するような予定があるか。

答 今の予定では今年度3月ぐらいまでには現地調査を終え、令和6年1月の文化庁へ国史跡の具申を目標に進めている。
出土品は、土器のかけらのようなものだが、公開できると思う。



遺跡発掘調査の作業風景(十万寺城跡)

問 国史跡の申請が一つの目標だと思う。申請に向かう過程も発信していくことが、町の遺跡のPRになると思う。情報発信の工夫も必要ではないか。

答 国史跡になった後には、活用方法が問われる。活用計画を作成し、観光等も含めて活用をしていきたい。

白ごはん提供について12月末までに結論を出したい

☆前年のことも園での白ごはんアンケート結果への町の検討結果が示された。新型コロナ対応もあり、可否は12月以降となった。

問 回答期限からかなりの時間が経過したが、検討状況は。

答 新型コロナの影響で、第7波の影響で、7月から各ごとも園が毎週のようにPCR検査を行っていた。保健所の指導で各年齢を合流させない保育を実践しており、保育士の仕事量が増加している。

また、保育士の確保もできていない。もう少し検討時間がほしい。12月末までに結論を出したい。

問 アンケートの自由記載欄に書かれた意見に対する検討状況は。

答 あさひごとも園の門扉の改善など、早期に対応すべきものは実施した。他のものについては、もう少し時間がほしい。

臨海公園にグラウンド・ゴルフ場を

☆現在、県では東郷湖羽合臨海公園パークビ

ジョン検討会を立ち上げ、同公園の今後のビジョン、活用を検討されている。

その中で、利用頻度が少ない催物広場やゲートボール場を、市民の要望が強いグラウンド・ゴルフ場への改修検討を要請した。

問 いつ頃をめどに検討をしていくのか。

答 令和4年度に県がビジョンを取りまとめ、5年度にはパーク

ビジョンを策定し、方向性を出す理解している。

問 具体的な話はまだまだこれから。2、3年はかかってしまうとの理解でよいか。

答 具体的なめどとして、令和6年度から新しい指定管理になる。それに向けた仕様書づくりを、県がする。グラウンド・ゴルフ場の改修は、これからの話で、長いスパンになると思う。



東郷湖羽合臨海公園のゲートボール場

一般会計補正予算

総額

3億4932万円を追加

105億7172万円

9月 定例会

令和3年度決算17議案をはじめ、補正予算、条例改正など33議案と諮問1件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

補正予算

スマート農業 促進事業

・スマート農業の社会実装に向け、機械などの導入経費を支援する。認定農業者のドローン防除機購入を支援する。
168万円



期待されるドローン防除機

ATMの存続維持

・株式会社 山陰合同銀行（以下「ごうぎん」という。）が行う泊支所敷地内への屋外設置型ATMの設置・維持に係る費用
413万円

光熱費助成事業

・電気代等の高騰が継続している状況を踏まえ、6月、7月に行った光熱費助成を継続実施する。
1868万円

因となることから泊支所敷地内への移設存続が決まった。

その他

町のマイクロバスを更新

☆町所有のマイクロバス3号車の老朽化に伴う更新の入札結果が報告された。落札業者は、株式会社真木自動車、29人乗りのマイクロバスで購入金額は1039万8千円。



更新予定のマイクロバス3号車

困窮世帯（1500世帯）とし、6か月分1万4千円を助成する。

龍島ポンプ場 いよいよ竣工

・建設工事費増額補正
2484万円

新型コロナウイルスの感染拡大やロシア・ウクライナ戦争等の影響による建設資材や機械設備の値上がり分を次のとおり追加で予算計上。

- ・放流渠 330万円
- ・管理棟 409万円
- ・機械設備 894万円
- ・電気設備 851万円

竣工は、本年10月7日。
（関連記事は19ページ）



老朽化で床が抜けたため鉄板で補修した車内

新たな過疎対策に向けて

～令和4年4月から東郷地域も過疎地域に指定～

令和2年国勢調査の結果に基づき、令和4年4月1日から新たに東郷地域（旧東郷町）が「一部過疎」として過疎地域の指定を受けました。すでに泊地域（旧泊村）も「一部過疎」の指定を受けており、令和3年9月に、令和3年度から令和7年度までを計画とする「湯梨浜町過疎とみなされる区域に係る持続的発展計画」を策定しましたが、このたび東郷地域が新たに指定されることに伴い、計画が変更されました。

議員注目の施策!!

竹林整備で 生活環境保全

鉢伏地区の荒廃竹林を再整備し、生活環境を保全

今滝梨生産団地 整備事業

北福・漆原地内に団地を整備し、平坦地栽培への移行を促進

JR松崎駅整備

JR松崎駅のトイレ洋式化・バリアフリー化をJRと協議

農業集落排水 施設間の接続

計画的に再生・更新などを目的とした施設の統廃合を検討する

コミュニティーの 育成・人づくり

地域活動のリーダー等の人材を発掘・育成し、その人材を活用した学習の場を提供

◆過疎地域とは？

地域の人口が減り、その地域に暮らす人の生活水準や生産機能の維持が困難になってしまう状態になった地域のこと。

◆一部過疎とは？

国が、合併前の市町村を過疎地域とみなし指定すること。

◆過疎地域に指定されるとどうなるの？

大きなメリットとして、国の補助率のかさ上げと、過疎対策事業債（過疎債）の活用が代表的です。町では、大きな事業をするときに借金をすることがありますが、過疎債を活用した場合は、借金のうち7割が地方交付税として国から交付されるため、町は3割の負担で、道路などの整備や公共施設の改修などを計画的に行うことが可能になります。



本会議での採決結果

9月定例会

議案の裁決は、濱中議長を除く11人で行います。今定例会に提出された議案はすべて全会一致で可決及び認定しました。

陳 情 審 査 結 果

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳情者名	採決結果
女性トイレの維持及びその安心安全の確保について（陳情）	女性スペースを守る会 — LGBT法案における『性自認』に対し慎重な議論を求める会 — 共同代表 飯野香里・井上恵子 永田マル・山田響子	不採択 労働安全衛生規則等の改正が、公的な建物内等の不特定多数が使うトイレにおいても、独立個室型のトイレ1個で足りるという傾向を助長させるとは思えない。
沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会 代表 漆山 ひとみ	不採択 私達国民は、一時たりとも沖縄を差別に考えたことはなく、等しく日本国民として認識するものである。一日も早く基地に移転を終え、安全・安心な日々を共有したいと願っている。
会計年度任用職員の処遇改善に向けた法改正と雇用安定を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 湯梨浜町職員労働組合 執行委員長 中村 武史	採 択 全会一致 (国に意見書を提出)

議会運営委員会

視察報告

～国会議員への陳情・タブレット端末の活用による議会ICT化の取り組みに向けて～

8/9 東京都千代田区 (衆議院会館・参議院会館)

湯梨浜町が直面している重要な課題下記3点について、鳥取県選出国会議員に面談し陳情活動を実施した。

- ①医療的ケア児の就学に対する支援
- ②地方創生推進交付金の拡充
- ③参議院議員選挙における合区の解消

8/11 神奈川県開成町議会

タブレット端末導入先進地である神奈川県開成町議会において、下記4点について調査した。

- ①タブレット端末の運用について
- ②ウェブサイトについて
- ③議会広報誌について
- ④議会広報誌のICT化について

<まとめ>

開成町議会におけるICT化については、業者に依頼せず議会事務局と協力しながら動画作成をするなど、低コストでタブレット端末の機能を最大限に駆使しながらの活用がなされていた。

湯梨浜町においても、議会のICT化推進は喫緊の課題であり、タブレット端末利用研修会の実施、さらに、議会ICT化推進委員会を設置し、議会の情報発信、災害時の危機管理対応など検討していく必要性を強く感じた。



総務産業常任委員会

視察報告 ～地域新電力事業の取り組みを研究～

7/25 秋田県鹿角市役所

秋田県鹿角市は、豊富な森林資源や電力自給率300%を超える再生可能エネルギーを有し、令和4年3月14日には、2030年までには二酸化炭素排出量実質ゼロにする「ゼロ・カーボンシティ」の実現を目指すことを宣言している。

総務産業常任委員会では、現在、湯梨浜町・北栄町・琴浦町を一つのエリアとして「地域経済の活性化」「脱炭素社会実現」を目的として地域新電力「鳥取中部みらい電力」が、官民連携のもと民間主導で事業提案されている。



<まとめ>

鹿角市には、電力自給率373%もの再生可能エネルギーは存在するが、地域資源を発電業者と地元が共生することは困難であり、電力市場価格高騰などの現状からすると、「かづのパワー」への補助金投入を継続しなければ維持できないと考察する。

「地域経済の活性化」「脱炭素社会の実現」「ゼロ・カーボンシティの宣言」など鹿角市の姿勢は評価するが、事業展開に無理があると考えることから、本町では現状において予算措置の必要は感じない。

町政を問う

9月定例会では、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

質問者	質問事項	ページ
小川 遊	テクノロジー新時代においても魅力と活気あふれるまちづくりを	12
中森圭二郎	若者が町づくりに参加できる仕組みを パートナーシップ宣誓制度の導入は	13
松岡 昭博	町のめざす図書館とは 龍鳳閣とゆ〜たうんの運営状況は	14
信原 和裕	情報化社会進展でどうなる学校教育 増え続ける不登校児童・生徒等への対応は	15
増井 久美	住宅移転は町民に寄り添った対応を 学校給食費の無償化を	16
米田 強美	投票率の向上を さらなる子育て支援の充実を	17

テクノロジー新時代においても 魅力と活気あふれるまちづくりを

町長

モデルケースを見習い努力



おがわ ゆう
小川 遊



議会でもICT活用が進む

【問】①新潟県の旧・山古志村（現・長岡市）で行われている、NFTやDAOを利用した地域活性化、関係人口・交流人口の創出について本町の考え方は。
②Web3.0と言われる新時代到来に向け、仕事や生活でITを活用できる環境を整備して、ITに強いまちづくりをすべしと考えるが本町の意向は。
③メタバースの入口はゲームと言われているが、現状では、ゲームは制限の対象である。新時代を捉えるための住民の学びの機会が必要だと考えるが、本町の考え方は。

【町長】①山古志村民会議の「デジタルトランスフォーメーション（DX）」の取組みは、地域づくりの可能性を予感させる。過疎対策の手段の可能性を探りながら勉強したい。現在、SNSを使い町のファンを増やす「ゆりはまフェロー」で関係人口の創出に努力している。
②次世代「分散型インターネット」Web3.0のテクノロジーの新時代対応について、状況を見定め県、国と情報共有し新しいIT環境整備に努めたい。
【教育長】③現在、公民館ではスマホ教室を開催し学習機会を設けている段階であり、メタバースの利用の仕方の要望も高まれば学習機会を設けていきたい。

※NFT…リアルワールドのついたデジタルコンテンツ。
DAO…分散型自立組織。ブロックチェーン時代の新しい組織形態。

若者が町づくりに参加できる仕組みを



なかもり けいじろう
中森 圭二郎

町長

若者との意見交換会など推進

【問】第4次総合計画策

定時に行ったアンケートでは、多くの町民が「子どもや若者が積極的にまちづくりに参画できるような機会の提供」を求めている。本町では、若者への機会提供について現状では、どのように取り組んでいるのか。

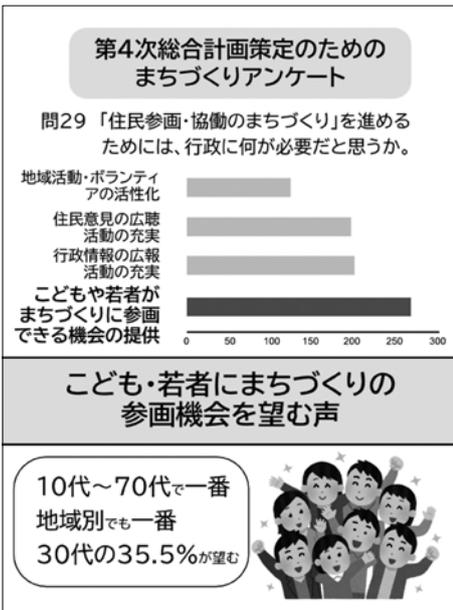
愛知県新城市では、高校生、大学生、若手社会人、市役所若手職員などで構成される「若者政策ワーキング」という組織を立ち上げている。湯梨浜町でも、若者の声を政策に取り入れる仕組みを作ってはどうか。

【町長】湯梨浜町第4次

総合計画の策定のため、アンケートを実施した。その中で「子どもや若者が積極的にまちづくりに参画できるような機会の提供」が最も多かった。町として町民参画の

「まちづくり創造事業」「地域にぎわい創出事業」などを創っている。若者だけに限定してはないが若者にも積極的に参加してほしい。

新城市は「新城市若者条例」「新城市若者議会条例」を制定し、若者の意見を市政に反映する仕組みを設けている。町として若者との意見交換会を行うなど、推進したい。



パートナーシップ宣誓制度の導入は

町長

前向きに検討してみたい

【問】LGBT当事者の

方から、一般的な啓発以外に、LGBT当事者を支援する事業が少ないと聞いている。現在、湯梨浜町では、どのような支援があるか。町営住宅の入居や「若者夫婦・子育て世代住宅支援事業補助金」といった申請で、「夫婦」であることが要件になることがある。LGBT当事者が申請した場合、現状ではどう対応するのか。

境港市でパートナーシップ宣誓制度が導入された。湯梨浜町でも、制度導入を検討してはどうか。

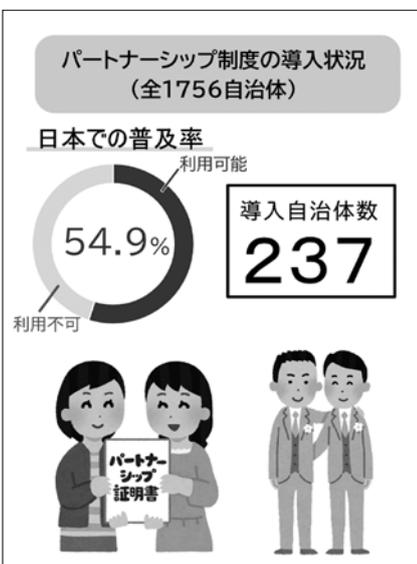
【町長】現在、町では性的マイノリティの方の相談や質問は受けていない。現在は、夫婦であることが要件になっている申請は断らざるを得ない。

本町では「夫婦」が規定されているものが12件、「結婚」が規定されているものが12件、「婚姻」が規定されているものが38件ある。

町独自のパートナー

シップ制度導入については、あらゆる差別をなくする運動、総合計画に定める学習機会や情報提供だけでなく、多様性を認め、住みやすい町をつくるためにも前向きな検討してみたい。

※このほか、「道路情報アプリの導入による住民参加を」も質問しました。



町のめざす図書館とは

教育長

気軽に気持ちよく利用できる 図書館



まつおか 松岡 昭博

【問】図書館は、教養、調査研究、レクリエーションなどに資するため設置されている。
①図書館は、図書館法により設置基準が定められている。本町はその基準に、どのように対応しているのか。
②図書館利用者のアンケート結果に、どのように対応しているのか。
③利用しやすい図書館として、満足度80%以上の図書館とは、具体的にどのような図書館をめざしているのか。



多様な図書を揃えた図書館
(龍島)

【教育長】①町内の図書館は、国の「図書館設置基準」に沿って作られた「町教育大綱」等によって運営されている。
幅広い分野の図書の整備、地域の歴史や文化資料の収集・保存、乳幼児から高齢者までの学びの機会と場所の提供等を行っている。
②「図書館利用者アンケート」は、質問内容の検討に時間にとられ未実施。
③町民の意見を踏まえ、気軽に気持ちよく利用できる図書館をめざす。

龍鳳閣とゆくとあいの 運営状況は

町長

両施設とも赤字

【問】龍鳳閣は、住民の健康増進、福祉向上と観光振興、そしてゆくとあいは、住民のふれあいの場と観光振興を目的に設置され、ゆりはま温泉公社に管理委託されている。
①施設の町民の利用状況や管理委託料、経営状況を踏まえ、施設の設置効果をどのように考えているのか。
②施設の経営課題をどのように考え、今後、どのように運営しようとしているのか。

【町長】①令和3年度実績では、龍鳳閣の利用者が約9万人で町内が4割、ゆくとあい利用者が約6万6千人で町内が5割。管理運営費は、ゆりはま温泉公社との5年契約。近年、コロナ禍で利用者が減り、令和

2年度に100万円、3年度に70万円ずつの支援をしたが、売店収入を入れればとも赤字。
②老朽化した施設設備の改修が課題だが、コロナ禍が終われば利用者の回復は十分見込める。



健康増進器具を整備している龍鳳閣
(引地)

情報化社会進展でどうなる 学校教育

教育長

学力に応じた学習につながる



のぶはら 信原
かずひろ 和裕

【問】情報化社会進展の中で平成30年度から進められていた「情報機器整備業務」は、今、どうなっているのか。これからどうなるか。

①1人1台のタブレットや大型提示機器等の整備費用、今後の必要経費や課題は。

②情報機器を使った授業・オンライン授業の進展での学校・教員のあり方の変化・影響は。

③子どもたちは、タブレットを使いこなせているか。さらに、学力差が開いてないか。目などに悪影響は出ていないか。



1人1台のタブレットを使った授業

【教育長】①整備費用は、

1億5800万円、今後の必要経費は1200万円の年間経費と更新費用。課題は、有効な活用方法などを明らかにすることと機器の更新。

②情報機器の操作方法を指導できる教職員が8割以上いる。研修などを行い、負担にならないようにしている。

③小・中学校のほとんどの生徒が、タブレットを使った学習は分かりやすいと回答。また、理解度に応じた教材があり、学力に応じた学習につながっている。

視力障がい対策は、学校と協力しながらやっていく。

増え続ける不登校児童・生徒 等への対応は

教育長

本人・保護者の要望に対応

【問】過去10年間で、不登校児童・生徒は小学校で5倍、中学校では横ばいである。

特別支援学級児童・生徒は、小学校・中学校ともに約2倍に増えている。

①なぜ、不登校や特別支援学級在籍の児童・生徒が急激に増えたのか。対応は適切だったか。

②不登校や特別支援学級在籍の児童・生徒への情報機器事業の影響はどうか。課題・展望は。

③不登校や特別支援学級の児童・生徒の義務教育終了後の進路やあり方はどうか。それらを展望した教育・支援が必要ではないか。

【教育長】①小・中学校の不登校出現率は、8年連続して高くなっている。原因は、複雑化、多様化しているが、スクールカウンセラーなどを配置しており、改善に向かっている例もある。

特別支援学級への入級や教育は、本人・保護者の要望に対応するよう制度が変わり、生徒数は増加傾向。

②タブレットに興味を持って、学習に取り組む生徒が増えた。不登校生徒には、オンライン授業が有効。また、操作が得意な生徒には、学びの幅を広げられるよう環境整備を行っている。

③中学校の不登校生徒の進学先は、高校、専修学校。特別支援学級は高校、支援学校高等部。進路については本人、保護者の希望を考慮している。



特別支援学級での授業風景

住宅移転は町民に寄り添った対応を

町長

引っ越し費用の支払方法を検討中



ますい 久美 増井



建築中の新長江団地
(レークサイド・ヴィレッジゆりはま)

【問】新たに建設される「新長江団地」が12月に完成予定となり、対象者から不安や疑問の声が出ている。家賃が6年後に上がるという点や、引っ越し費用についてである。

引っ越し費用については自分で立替え、その後に支払われるという説明があり、「話が違うのではないか」といった声を聞いている。町営住宅には高齢の方も多く、不安の声が出るのも当然だと思う。

【町長】令和2年の第1回の説明会で、新築物件なので家賃の増額は避けられないと、説明していた。以前の家賃を超えた分を減額対象とし、段階的に上げて6年目に本来の家賃となる。

引っ越し費用は、町が直接全額負担を予定した。ただ事業費の算定ができず、個人の立替払いと説明したため、不満や不安を与えてしまった。現在、町が業者へ直接支払う方法を検討している。

学校給食費の無償化を

教育長

来年度の予算で一部支援へ

【問】昨年の12月議会において、町は食品価格高騰による給食費の値上げ分の補助を行った。

これについては評価をしているが、もう一歩先に進めて完全無償化をしようか。

県内では、若桜町・大山町・智頭町など無償化に踏み出した。コロナ禍の中で子育て世代の応援にもなる。

また食品値上げの中で多くの家庭が食費を切り詰める状況になっている。一日一食でもきちんとした栄養を子どもたちにとってもうするためにも給食費の完全無償化を望みたい。

【教育長】給食費の値上げに対して、保護者の負担軽減と質の維持を図るため、コロナ対応地方創生臨時交付金を財源として支援している。ただし、今年度1年間限りとして理解している。

給食費の負担については、学校給食法の規定があり、食材は保護者の負担とされている。今後の行政からの支援については、コロナの状況、食材価格の状況、家庭負担の状況、給食会計の状況などを注視し、町長部局と協議し、令和5年度の予算編成過程で検討したい。



配送も大切な仕事
(学校給食センター)

投票率の向上を

教育長

学習・活動を通し政治への関心を期待



よねだ つよみ
米田 強美



島根県浜田市における移動期日前投票所の取り組み

出典：総務省ホームページ
(https://www.soumu.go.jp/main_content/000802593.pdf)

【問】①投票しても意味がないと諦める若者が非常に多い。自分の行動で国や社会を変えられるという成功体験が大切だと考える。また、若者の情報収集ではイメージ動画などで、ぱっとした印象を重視する傾向がある。情報を読み解く力を高める必要性についても、教育長の所見を問う。

②高齢者のみならず、障がいを持つ人など、交通弱者の配慮が大切。浜田市では、自動車を利用した移動期日前投票所を開設している。投票環境の向上や、移動支援について町長の所見は。

【教育長】①学習や活動をとおして、児童生徒の政治へ関心を高めることや、成功体験を積み重ねることで、若い世代の投票率の向上につながっていくことを期待している。メディアリテラシー（情報を読み解く力・情報活用能力）を高める取り組みも行っていく。

【町長】②議員例示の浜田市では、アウトリーチ対策（移动式投票）がとられている。研究してみたいが、現在は考えていない。障がいや重度の方等の移動支援など、需要や必要性を考慮し、選挙管理委員会にも持ちかけたい。

さらなる子育て支援の充実を

町長

より一層サービスの充実を図る

【問】①明石市では、子どもの暮らしやすさや子育てのしやすさに重点を置いた政策により、地域経済の好循環が生まれている。子どもを核とした、まちづくりについて所見を問う。

②子育て支援センターの、さらなる充実が望まれるが、所見を問う。

③鳥取市の産後ケア施設が、入浴と食事をゆつくりと楽しむ企画を開始し好評である。町内でも実施したい子育て支援団体があり、連携して推進することについて所見を問う。

【町長】①明石市の特徴的な施策は、5つの無料化政策（子どもの医療費・保育料・おむつ・中学校給食・遊び場）と全小学校区に「子ども食堂」の開設など。今後の支出計画・事業の費用対効果を見極めながら、実施できそうなものを参考としたい。

②利用者の要望にも応じ、より一層サービスの充実を図っていく。

③産前産後の妊産婦、またそのご家族にあった支援が提供できるよう、病院、助産師等とも連携を強化していきたい。



ベビーマッサージで親子のふれあい（はわいこども園子育て支援センター）

皆様のご意見にお答えします

皆さんから、たくさんのご意見、ご提案をいただき、ありがとうございました。
ゆりはま議会だよりVol.74に掲載しきれなかったご意見、ご提案を掲載します。

議会改革にデジタル機器を活用

- 問 議会改革の現状は。また、市民に身近な議会にするにはどのような改革をするのか。
- 答 デジタル機器を活用した議会運営を行い、積極的に情報発信を推進していきたい。また、デジタル機器の活用が難しい方に対しては、引き続き議会広報を発行して情報発信を行っていきたい。

マイク機材更新

- 問 議会動画は、発言者の声が全く拾えない場面があり改善を望む。また、本会議の録画中継も町ホームページで放映されることを望む。
- 答 動画音声については、本年度中にマイク機材を更新予定のため改善される見込み（以下を参照）。ホームページの活用については、更に鋭意改善に向けて努力していきたい。なお、本会議のインターネット中継については、実施できるように研究を進めていくが、サーバー等の関係で難しいと言われている。

このたび9月に、議員控室のマイクを更新しました。音声が聞き取りやすくなるとともに、一人1台のマイクになったため、新型コロナウイルス感染対策も図れます。



少数意見も尊重

- 問 会議での住民代表の声、あるいは採用にならなかった意見等にも着目してほしい。
- 答 今後も、少数意見を加味し、行政施策に対する検討を進めていきたい。

「住民と議会の意見交換会」は中止します

●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●

令和4年度の「意見交換会」は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、中止とさせていただきます。議会や行政に対するご意見・ご提案は、議会事務局へメール、FAXまたは郵送などでお送りください。

また、スマートフォンからも気軽にお送りいただけます。右のQRコードからアクセスしてください。お寄せいただいたご意見・ご提案は担当委員会と協議し、議会だよりなどで回答させていただきます。



各区長さまへ

議会・行政に対する意見・提言を求める通知を送付いたします。意見等がございましたら、通知に同封している返信封筒で議会事務局へお送りください。なお、団体、委員会等で議員と意見交換を行いたい希望がございましたら、遠慮なく議会事務局にご連絡ください。その場合は、交換会の課題となるテーマ、質問事項等を事前にお知らせいただきますようお願いいたします。

コロナ対策を中心に 一般会計補正予算

5946万円増額

7月 臨時会

7月臨時会は、7月28日に1日の会期で開催されました。

補正予算2議案、物品売買契約の変更3議案の計5議案が提案され、いずれも原案のとおり承認及び可決しました。ここでは、その一部を紹介します。

補正予算

新分野進出による業態転換などを支援

・新時代対応型事業展開支援事業
500万円

町内事業者が、新型コロナウイルスで変容した生活様式や市場に対応しながら、事業継続を促進する目的で、当初予算250万円に500万円を増額して支援する。

漁業の支援

・漁業者燃油高騰対策支援事業
208万円

町在住の漁業協同組合員のうち、燃油高騰の影響を受ける漁業者に対し、燃油の種類および漁船の重量に応じて給付金を支給する。

オリンピック選手から指導

・運動・スポーツ習慣化促進事業
520万円

オリンピック選手が東郷小・泊小の児童に直接、実技指導して、スポーツの大切さやインフルエンサーの役割を伝える事業。指導を受けた子どもたちは、キッズ健幸アンバサダーとして認定される。子どもたち自身が運動習慣を身につけ、また運動習慣の大切さを

家族や地域の高齢者に伝えることで、スポーツによる健康づくりを促進させることを目的とする。

各自自治体への感染症対策用品整備等に係る補助金を支援

・感染対策継続支援
1302万円

令和3年度に実施した自治会が行なう整備への支援を継続し、新型コロナウイルス感染症の拡大予防と地域コミュニティ活動の継続を図る。

自動車の燃料費助成

・燃料高騰緊急対策事業
64万円

燃油価格が高騰しているため、町内介護福祉事業所20事業者の送迎車に燃料費を助成する。

龍島ポンプ場通水開始

町が、平成30年から松崎地区内水対策事業として建設工事に着手した「龍島排水機場（ポンプ場）」が完成し、10月7日に竣工式が開催されました。

施設周辺の龍島・旭地区では、近年、台風や梅雨前線の影響により床上浸水を伴う被害が発生しており、治水

対策が求められてきました。

この施設は、周辺の住宅地や温泉施設を内水氾濫から守るために建設されたもので、排水能力が毎秒2.8トンあり、1時間に50ミリの非常に激しい雨が降っても、住宅地に溜まった水を東郷池に排出することができま



地域で待たれた龍島ポンプ場

町民インタビュー



「ファインダーの向こう側」

小谷 哲夫 さん（旭）

「あれ、なんだ」思わずシャッターを切りカメラに収まったのは、天然記念物のオジロワシ。それから、父から譲り受けたコンパクトカメラを、一眼レフカメラに持ち替え17年が過ぎました。

なかなか思うような写真は撮れません。それでも「数打ちゃ当たる」市展・県展でも、何度か賞もいただきました。

湯梨浜町中央公民館では、鳥・桜・虹・今滝をテーマに4回の展示。近所の薬局では、季節の風景を長年に渡り展示し、湯梨浜の四季を楽しんでいただいています。

冬の今滝は神秘的。氷の芸術は素晴らしいものがあります。温暖化の影響が、凍ることが少なくなりました。

鉢伏山から望む東郷池。鶴が羽を広げて飛んでいるように見えるため「鶴の池」と呼ばれています。しかし近年、木が大きくなって、美しい鶴の姿が見えません。

これからも、湯梨浜の美しい景色を撮り続けてまいります。



冬の今滝



虹と四ツ手網



夕焼け空に鶴の舞・2011



鉢伏山から鶴の池・2022

議会を傍聴してみませんか

議員が、議場でどんな発言をしているのか。どのような町づくりを考えているのか。今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。

議会の日程は、広報ゆりはま、防災行政無線放送、町ホームページでお知らせします。

次回の定例会は

12月9日(金)～
午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。詳しくは町ホームページへ。

編集後記

IOT、NFT、DAO、メタバース、VR、Web3.0、ブロックチェーン、トークン、GIGAなど。若手議員から続々とデジタル関連用語が出てくる。

映画「アバター」や「マトリックス」など、映像を見て未来のことと感じていたが、インターネットを通して、仮想空間と現実社会の融合が展開される社会となってきたことを改めて認識させられた。

我々、議会・行政もようやくデジタル化やパーパス化を目指し、タブレット端末を導入したが、先進地のように使いこなすには、まだまだ時間がかかりそうに思う。

耳新しい言語を理解し、早く機器を使いこなせるようになりたいものである。

(記 寺地)

【編集】

議会広報常任委員会